

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所あおい			
○保護者評価実施期間	2026年 8月 1日		～	2026年 8月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 7月 15日		～	2026年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 8月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内でのスペース確保やバリアフリー	階段をなくし、スロープを設置するなど	各所出入口に鍵を設置し、防犯対策を図る。
2	児童の状況で個別活動や集団活動のすみ分け	児童の特性や利用時間帯で1日のスケジューリングをしている。また児発と放デイで取り組みを分けている。	児童の今後を伸ばしていく能力を模索し、支援を行う。
3	子どもたちの安心感、通所を楽しみにしてもらっている。	子どもたちの【楽しい】を第一に模索	楽しいの先に保護者が求めるものを追求。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練など告知がない為、いつやっているかわからない。	日々の主活動に告知をフォーカスしているので保護者に伝わりくい部分がある。	別紙で年間スケジュールはタイムリーのチラシを作成するなど告知する。
2	他事業所との交流があったかどうかわからない。	利用児童の来所時間や曜日での人員配置が課題。	土曜日や祝日など利用児童に来所時間が一定の日に交流日を設ける。
3	基準人員は満たしているが、曜日で利用児童の数や特性に応じた人員配置ができていない。	スタッフの希望休や利用児童の利用希望をすり合わせ。	児童の申し込みの時点で配人員の置を固めることや日々の流れをルーティン化することで効率の良い業務を遂行する。